

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(幡羅小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学	理科
幡羅小	上回った	上回った	上回った
埼玉県	68	58	58
全国	66.8	58	57.1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質 問 事 項	幡羅小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	94.6	94.3	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	79.7	83.9	81.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.3	91.9	91
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	86.5	84.8	81.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	64.9	56.2	54
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	55.5	49	47.1
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	43.2	31.9	31.1
教科への関心	国語の勉強は好きだ	63.5	59.3	58.3
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	97.3	92.1	90.4
	算数の勉強は好きだ	52.7	58.7	57.9
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	97.3	93	91.6
	理科の勉強は好きだ	82.5	81.4	80.1
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	86.4	81.7	79.9
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	91.9	84.7	80.3
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	81	75.7	68.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	90.6	82.8	77.8
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	93.3	87.9	84.9
その他	自分には、よいところがあると思う	93.3	88.5	86.9
	将来の夢や目標をもっている	85.1	84.7	83.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	100	96.8	96.4
	地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか	95.9	83.5	81.3

【質問紙の結果より】

・「学ぶことは将来に役に立つ」「人や社会の役に立ちたい」と答えた児童が非常に多く、学ぶ意義をしっかりと理解している様子がうかがえました。学ぶ意味について先生が生活や社会と結びつけて伝えていることやご家庭でも日頃より勉強の大切さを伝えているからと考えられます。一方で、「国語が好き」「算数が好き」と答えた児童の割合は全体的に下回り、学ぶ楽しさを実感している児童がやや少ない傾向が見られました。

学校では

学習内容を日常生活や将来の夢と結びつけながら、児童が「学んでよかった」「わかった」「できた」と感じられる授業づくりを少人数指導や TT 指導を取り入れながら進めていきます。

ご家庭では

「今日はどんなことを勉強した?」「どんな場面で役たちそう?」などと会話の中で学習について話題にすることをお勧めします。また努力する姿を認めたり、できたことを一緒に喜んだりすることで、学ぶ意欲がますます高まります。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

○小学校国語 2－2（1）

出題の趣旨は「段落全体を読み取り、筆者の考えや意図を正しく理解できているかを見る」です。授業の中で、文の構成や筆者の考えを話し合う活動を重ねてきたことで、文章の要点を整理しながら読む力が育っていると考えられます。

●小学校国語 3－2（2）

出題の趣旨は「文章全体をもとに、自分の考えをまとめて説明することができるかをみる」です。条件をすべて踏まえて記述することや内容を整理して、自分の考えを根拠をもって表すことに難しいと感じていると考えられます。また、問われていることが読み取れず、質問の意図が理解できていない児童も見られます。

【算数】

○小学校算数 3－3（2）

出題の趣旨は、「数のきまりをもとに、計算の方法を考えたり、確かめたりすることができるかをみる。」です。授業の中で考え方を言葉で説明したり、友達と比べ合ったりする活動を大切にしており、子どもたちが自分の考えを筋道立てて表現する力が育っていると考えられます。

●小学校算数 3－2（2）

出題の趣旨は、「数直線を用いて、分数の大きさを比較したり、表したりすることができるかをみる。」です。分数の意味や単位分数の考え方が十分に定着していないこと、図や数直線を使って考えることに課題があると考えられます。

【理科】

○小学校理科 1－1（1）

出題の趣旨は「身の回りの現象を観察したり、比べたりして、物の性質や変化をとらえることができるかをみる。」です。実験や観察を通して友達と考えを交流する活動を重ねており、体験をもとに自然の変化を理解しようとする姿勢が育っているからだと考えられます。

●小学校理科 3－2（2）

出題の趣旨は「水の変化や状態の違いについて、条件を整理して理由を考えることができるかをみる。」です。問題文が長く、条件を整理して考えることが難しかったと考えられます。

課題への取組・改善策

国語	<ul style="list-style-type: none">・複数の条件をもとに考えを書く活動を授業や朝の時間で取り入れ、表現力の向上を図ります。・正しく読み取る力をつけるために、読書活動の推進をします。また、低学年では定期的に視写に、高学年ではコラム学習に取り組むようにします。
算数	<ul style="list-style-type: none">・問題文を丁寧に読み取り、条件を整理して考える力を育てます。自分の考えを図や式で説明したり、友達と比べたりする活動を増やします。・基礎的な計算練習に加え、生活の中で活用できる問題にも計画的に取り組めます。
理科	<ul style="list-style-type: none">・観察や実験を通して、結果から理由を考え、自分の言葉で説明する時間を確保します。・授業では、実験方法や考察を友達と話し合う機会を設け、科学的に考える力を高めます。・身近な自然現象への「なぜ？」を大切にし、調べてまとめる活動を充実させます。

幡羅小研究紹介



幡羅小学校では『「わかる」「できる」を実感するはたらっ子の育成～一人一人を確実に伸ばす魅力ある授業を目指して～』を研修主題として全職員で算数の授業研究に取り組んでいます。授業の終わりには、自分の学びを振り返る時間を大切にし、どんな場面で「わかる」「できる」を実感できたかを共有しています。幡羅小では、今年度「わ！もっとやってみよう」という合言葉を作りました。子どもたちが、学びの楽しさを感じながら、自分の考えを深められるように支援しています。

ご家庭では、お子さんの話をよく聞き、「そう思ったのはなぜ？」「どうしてそう考えたの？」など考え言葉にする機会をたくさんもってください。又、買い物や料理など日常の中で数や量、自然の変化にふれる体験を通して、「なぜ？」「どうして？」と一緒に考えることが、学ぶ意欲を高めます。ご家庭での対話が学力向上にもつながり思考を深くしていきます。

